**オンライン物産展が好調　高山市産業振興協会が企画**

（2020, 6,17）

　新型コロナウイルスの影響を受ける地場産品などの生産者や販売事業者を支援しようと、高山市産業振興協会がクラウドファンディング（ＣＦ）を利用したオンライン物産展を始めた。七月三十日午後六時まで。　（西浦梓司）

　協会は毎年、県内外の百貨店で物産展を開いていたが、今年は新型コロナの影響で中止となったため、インターネットを活用。ＣＦには、造り酒屋や漆器店など協会に所属する五十六社が参加している。

　支援額千〜二十五万円の十五種類のコースがあり、金額に応じてリターン品が贈られる。リターン品は高山ラーメンの詰め合わせや一位一刀彫の置物、飛騨牛などで、数量限定のものもある。

　最高額の二十五万円のコース（先着一人）では、総ヒノキの仏具が贈られる。いずれのコースも支援額に対し、通常の販売価格よりもお得な品が贈られる。

　購入はＣＦサイト「Ｍａｋｕａｋｅ」から。「飛騨高山オンライン物産展」で検索すると閲覧できる。購入総額の目標を百万円としていたが、十六日に上回った。

　同協会の長岡俊輔会長は「全国の人に高山の物産を知ってもらう良い機会。実際に商品を楽しんでもらう中で、高山市の地場産業の窮地を救ってもらえれば」と話した。